



新時代を拓く  
Create a New History

FC Gifu

FC岐阜  
株式会社岐阜フットボールクラブ  
代表取締役社長

宮田博之氏

連載Vol.

31

## FC岐阜の課題

大木武監督体制は2年目で、監督方針も選手たちに浸透して、良い戦績として結果で現れてきています。前半の21戦では8勝5分け8敗で、勝点29、11位で折り返し、後半戦で上位に食い込むには好位置からのスタートと言えます。前半戦は過去の戦績としてはベストであり、後半戦の頑張りにも期待して皆様もごぞって応援していただきたくよろしくお願いします。

FC岐阜の目下の大きな課題は、練習場やクラブハウスの設備の問題があります。現在は岐阜市北西部運動公園内にある市民共用の天然芝のサッカー場と隣接する岐阜市スポーツ交流センターをクラブハウスとして利用させていただいておりますが、サッカー場は年間練習量の25%しか使えておらず、近隣の島西の人工芝サッカー場を含めても58%の利用率であるために、残りの42%はその他の空きサッカー場を求めて動いてますので上記のクラブハウスも十分に使えない状況にあります。

今後チーム強化と更なる上昇を目指すためにはFC岐阜の専用練習場と専用クラブハウスが喫緊の課題であり、現在岐阜市や関係機関にお願いをしているところです。

問題は練習場として利用できる公式サイズのサッカー場が岐阜市には天然芝、人工芝が一面ずつあるだけでも関わらず、多くの関係者がその利用に集中していることと、充実した施設が不足していることです。今後チーム力の向上やサッカー競技の裾野拡大のためには岐阜市や関係機関の皆様のご英断で、まずは早急に現下の厳しい環境を改善していただくことが必要です。Jリーグの他チーム並みに実質的な専用練習場や専用クラブハウスの実現に向けて動き出すことが必要です。

夢はチームのJ1昇格、世界に通用する選手の育成、岐阜の大きな発展への原動力になることであり、夢の実現に向かった課題の実現に邁進して行きます。



写真：©Kaz Photography/FC Gifu